

ボランティア活動でポイントが貯まる！ 「アクティブシニアポイント事業」が9月にスタート

市では、高齢者がボランティア活動を通じて地域に貢献することを支援し、社会参加による介護予防を推進するため、9月1日から「アクティブシニアポイント事業」を開始します。

自分の都合に合わせて、介護施設の利用者とおしゃべりをしたり、散歩のお手伝いなどボランティア活動を行うことで、ポイントが付与されます。貯めたポイントは年1回商品券と交換！あなたの元気で、充実したシニアライフを送りませんか？



1時間の活動で1ポイント(100円相当)付与
* 1日あたり最大2ポイント

1年間で最大100ポイントまで貯まる！

5ポイント以上で「商品券」と交換！

対象…65歳以上の市民で、要介護認定(要支援を除く)を受けていない方

対象となる活動

①市から指定を受けた介護施設等で行う次の活動

▷レクリエーション等の指導および参加支援

▷お茶出しや食堂内の配膳、下膳等の補助

▷喫茶等の運営補助

▷散歩、外出および館内移動の補助

▷模擬店、会場設営、利用者の移動補助、芸能披露等の行事の手伝い

▷話し相手

▷施設の職員と行う軽微かつ補助的な活動

②地域包括支援センターが主催する介護予防教室等の運営補助 など

ポイント事業の流れ

①まずは「研修会」に参加してください。

②1時間程度の研修で「会員登録」できます。



③登録後に「ポイント手帳」が交付されます。

④施設に申し込んで「ボランティア活動」を行います。

⑤施設からポイントの「スタンプ」を手帳に押してもらいます。

⑥ポイントの交換時期になったら、いよいよ「商品券との交換」手続きを。

⑦「商品券」がお手元に届きます。

「説明会&研修会」を開催します！

日時…①8月21日(月) 13:30~15:00

②9月27日(水) 9:30~11:00

場所…生き生きセンター(幾世森218-6)

内容…事業の概要説明、施設の種類・特徴や車いすの扱い方など

* 終了後に会員登録を受け付けます。

問い合わせ先

▷社会福祉法人五所川原市社会福祉協議会(五所川原市アクティブシニアポイント事業委託先)

Tel.34-3494

▷地域包括支援課 内線2461

今月号の表紙

〔日本海中部地震を教訓に 市浦小・中学校合同防災教育〕

今月号の表紙は、日本海中部地震発生から40年の節目となる5月26日に市浦小・中学校で行われた合同防災教育の様子です。

昭和58年に発生した日本海中部地震は、各地で大きな被害をもたらし、突然襲った大津波は脇元漁港に係留中の漁船に被害を与え、十三湖水戸口で釣り人6名の命を奪いました。

合同防災教育では、震災の記憶を風化させずに未来へつなげること、防災に対する意識の向上を目的に避難訓練や男女共同参画の視点を意識した避難所の設営方法を学びました。

視覚障害者役として目隠し状態での避難を体験した生徒は「転びそうになって、すごく怖かった」、支援役の生徒は「小さい情報でもなるべく伝え、腕を組んで距離が近くなるように工夫した」と話しました。

会場となった市浦B&G海洋センター体育館では、日本海中部地震の写真パネル展が設けられ、参観に訪れた地域住民は当時の様子を思い出し、自然災害の怖さと防災の重要性を再認識していました。



目隠し状態での避難を体験する生徒